

令和3年度第2回下水道事業経営セミナー

日時：令和4年2月16日（水） 13:30～17:15

会場：Zoom による WEB 配信

次 第

1. 開 会

2. 国からの情報提供

- (1) 「令和4年度下水道事業予算の概要と社会資本整備総合交付金等の交付要件について」

(国土交通省下水道部下水道事業課課長補佐 久岡 夏樹、
管理企画指導室企画専門官 保木 正継)

- (2) 「下水道事業における経営戦略の改定の推進等について」

(総務省自治財政局準公営企業室課長補佐 梅本 祐子)

3. 事例発表

- (1) 神奈川県秦野市「経費回収率向上に向けた経営戦略の策定（改定）について」

(神奈川県秦野市上下水道局参事兼経営総務課長 志村 高史)

- (2) 長野県富士見町「農業集落排水施設の統合等による動力費の削減や下水道使用料改定等による経営改善事例について」

(長野県富士見町上下水道課庶務経理係長 平出 智巳)

- (3) 愛知県春日井市「経営戦略策定に伴う使用料単価 100 円／ m^3 から 150 円／ m^3 への使用料改定について」

(愛知県春日井市上下水道部上下水道経営課下水道経理担当主査 加藤 京子)

4. グループ討議

「多様な経営改善策の実施による経費回収率の向上について」

5. 閉 会

配 付 資 料

資料1： 令和4年度下水道事業予算の概要と社会資本整備総合交付金等の交付要件について

資料2： 下水道事業における経営戦略の改定の推進等について

資料3： 経費回収率向上に向けた経営戦略の策定（改定）について

資料4： 農業集落排水施設の統合等による動力費の削減や下水道使用料改定等による経営改善事例について」

資料5： 経営戦略策定に伴う使用料単価 100 円／ m^3 から 150 円／ m^3 への使用料改定について

当日のタイムスケジュール

- 13 : 00～ Zoom 入室開始
- 13 : 30～ 開会
- 13 : 35～ 国関係発表 【40 分】
- 14 : 15～ 自治体①発表【30 分】
- 14 : 45～ 自治体②発表【30 分】
- 15 : 15～ 休憩 【10 分】
- 15 : 25～ 自治体③発表【30 分】
- 15 : 55～ グループ討議【75 分】※
- 17 : 10～ 閉会

※討議テーマ「多様な経営改善策の実施による経費回収率の向上について」
でグループ討議を行います。

事例発表の自治体概要（令和元年度時点）について

	神奈川県秦野市	長野県富士見町	愛知県春日井市
行政区域内人口（人）	160,730	14,390	311,129
処理区域内人口（人）	141,701	11,341	214,450
水洗化率（％）	91.0	92.8	95.2
供用開始後年数（年）	39	27	52
整備率（％）	84.7	74.1	69.0
経費回収率（％）	95.2	107.6	66.9
使用料単価（円/㎥）	142.8	220.1	100.3
汚水処理原価（円/㎥）	150.1	204.6	150.0
処理人口一人 当たり企業債残高 （千円/人）	219.4	389.6	217.7
下水道使用料 改定年度、改定率	平成 29 年度 平均改定率 5 %	平成 26 年度 平均改定率 7.6%	令和 4 年度 改定予定
備 考	●平成 28 年度に公共下水道計画（経営戦略）を策定、令和 3 年 3 月に「はだの上下水道ビジョン」として経営戦略を改定。 ●経営戦略の公共下水道事業財政計画の中で、今後の経営見通しや使用料改定についても明記。	●使用料の改定、経費の削減、建設改良費の見直しにより過去 10 年以上に渡り、経費回収率 100 % を維持。	●上下水道事業経営審議会において、使用料改定案を含む公共下水道事業経営戦略を審議。 ●使用者の負担緩和を図るため、令和 3 年 3 月検針分、令和 4 年 3 月検針分の 2 段階に分けて使用料改定を実施。

（出典）総務省「地方公営企業決算状況調査」「下水道事業経営指標・下水道使用料の概要」

（いずれも令和元年度）、各自治体ホームページ公表資料より作成